

# 山梨県立富士見支援学校

## I 教育目標

児童生徒の病状等に配慮し、健康の回復を図りながら、義務教育課程における学習空白を補完する。そのため、基礎的・基本的な学習内容等の着実な定着を図るとともに、安全で安心な楽しい学校生活の中で豊かな心や自立心を育み、社会の中で人と関わりながらよりよく生きていくための「生きる力」を育む。

## II 指導重点

- 1 児童生徒の病状等に配慮しながら、義務教育段階における学習空白を補完するための教育課程の編成と実施に努め、前籍校への復帰や進路実現を図る。
- 2 前籍校や病院、関係機関等との連携の充実を図りながら児童生徒等の支援に努める。また、病弱支援学校としてのセンター的機能の発揮に努める。
- 3 個に応じた分かる喜びを実感できる授業を行うことにより、学力の向上を図るとともに、達成感や自己肯定感を育む。
- 4 基本的生活習慣の確立と自立心の育成に努めるとともに、人との関わりを通して社会性を培うことに努める。
- 5 児童生徒の心に寄り添いながら信頼関係を築き、人間としてよりよく生きていくために必要な規範意識の醸成に努める。
- 6 教育活動全体を通じて、自他の命を尊重する意識を高め、思いやりの心や向上心を育む。また、学校のいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対処に努める。

## III 学校の特徴

### 1 対象児童生徒

富士見支援学校本校及び旭分校は、病院に併設している特別支援学校であり、病弱児童生徒を対象に、小中学校に準ずる教育を行っている。

本校は、山梨県立中央病院に入院・通院する児童生徒を対象としており、各々の実態に応じて学習指導を行っている。学習空白を補うための教科指導の他、社会適応を図るための指導等も行っている。

旭分校は、山梨県立北病院に入院・通院する心因性疾患の治療を必要とする児童生徒を対象としており、本校と同様、学習補完と社会への適応力を高めるための指導を行っている。

## 2 転入・転出

転入・転出とも、病院（本校は県立中央病院、旭分校は北病院）医師の診断のもとに行う。転入時には、学校見学等の教育相談や在籍校（小中学校）と話し合いを行い、円滑に転入手続きが進むように配慮している。また健康が回復すれば、前籍校（転籍前に在籍していた小中学校）に復帰するための手続きを行う。卒業学年に在籍する小学生は2月末日、中学生は11月末日の前籍校への転出（転籍）を目指す。

## 3 教育課程

小中学校に準じた教育課程を編成し、早期に健康回復が得られるよう児童生徒の病状に配慮した日課としている。また、指導計画については、学習空白を補完し円滑に前籍校に復帰できるよう前籍校と密接に連携し、個々の進度や病状に応じた授業を行っている。

病気等のため、学校生活や学習に不安がある場合は、活動時間や学習内容を段階的に増やしながら児童生徒が学校生活に適應できるよう配慮している。

## 4 医療、前籍校及び家庭との連携

児童生徒の病気治療や教育が円滑に行われるよう連絡会等を設定し、病院との連携を図っている。

児童生徒の円滑な前籍校復帰のため、前籍校連絡会や学校訪問を定期的に行うなど、担任間の情報交換を緊密に行っている。

児童生徒の理解や健康回復、学習習慣の定着を図るため、保護者との懇談の機会を多く設定するとともに、送迎等の際にも児童生徒の様子について気軽に話し合うことで保護者の不安や悩みの相談に応じている。